

ビジネス基礎ライフ

指導目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
------	--

教材	教科書:「ビジネス基礎」(実教出版) 学習書:「ビジネス基礎 学習書」 ネットレポート(一部対象者は郵送レポート)・学習ノート	レポート 面接指導 放送 到達度チェック・試験	全6回 必要時間数:2時間 全20回(テレビ WEB視聴可) 中間到達度チェック(9月)・年度末試験(1月)
----	---	----------------------------------	---

単位	2単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況(提出期限)、スクーリング出席状況(必要時間の出席充足)、放送視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

月	添削指導(レポート)		面接指導(スクーリング)		放送(NHK高校講座)		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
	回(提出期限)	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4		第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ	1	①「いざ、ビジネスの世界へ」 1.教科書p.10～13の4つのシーンから商業を学ぶ目的を考える。 2.私たちの生活が豊かで便利になっているのは、ビジネスの世界があることを示し、ビジネスの世界で生きるために、特に商業の学びが必要であることを理解する。 3.ビジネスで必要な心構えについて理解する。 4.ビジネスに対する望ましい考え方について、理解する。 5.のぞましい人間関係、倫理観や責任感、豊かな人間性、創造性、主体性、自己責任など抽象的な概念を具体的な事例を学習しながら理解する。 6.自ら考え、自ら学ぶ、基礎・基本の大切さ、進路、生涯学習の観点から商業の学び方を理解する。 7.生涯学習の重要性を理解する。	1	私たちの社会とビジネス ○私たちの生活とビジネス ○社会を支えるビジネス ○社会の課題とビジネス		
		2. 私たちの社会とビジネス	3	②「私たちの社会とビジネス」 1.産業構造の変化・ビジネスにおけるグローバル化・情報化・サービス経済化について、どのように発展しているのかを理解する。 2.ビジネスの発展がもたらした課題(地球環境問題、エネルギー問題への対応、食料に関する課題、人口構造の変化に関する課題、福祉に関する課題など)を考える。	2	ビジネスとコミュニケーション ○ビジネスマナーの重要性 ○基本的なビジネスマナー ○場面に応じたビジネスマナー	オリエンテーション(VOD) 科目の学習概要の説明	
5		第2章 ビジネスとコミュニケーション 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー	1	③「コミュニケーション、ビジネスマナー」 1.コミュニケーションの役割について具体的に学習する。 2.よりよい人間関係を築くため、ビジネスマナーがとても重要であることを理解する。 3.自己管理、会社の顔としての意識・身だしなみ・心遣いなどが、社会人として重要であることを学習する。 特にビジネスマナーについては、実習を通して理解を深めさせる。	3	経済の主体と仕組みとビジネス ○経済の主体とその活動 ○希少性とトレード・オフ ○価格の決定と変動の仕組み		
		3. 情報の入手と活用	3	④「情報の入手と活用」 1.さまざまな情報源があること、情報の特徴を理解して効率よく情報を集めること、情報の信頼性を見極めることなど情報を入手する際の注意点を確認する。	4	流通活動と流通 ○流通の役割 ○流通経路 ○流通の進化		

6	第1回 6月10日	第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス	⑤「経済の仕組みとビジネス」 1. 経済の仕組み、経済主体について理解する。 2. 生産要素の意味と、生産要素には限りがあることを理解する。 3. トレード・オフと機会費用を身近な例を取り上げ理解する。 4. 価格がどうやって決定しているか、また均衡価格がどのような時に変化するか、需要と供給の関係で理解する。	5	ビジネスの種類① ○ものサービス ○製造業 ○製造業の新たな展開		
		2. 経済活動と流通	⑥「経済活動と流通」 1. 流通の意味、重要性を具体例を考えながら理解する。 2. 流通のはじまりと発展について、教科書p.66～67よりその流れを歴史年表的に概観する。 3. 生産と消費の間の隔たりについて理解する。その隔たりを解消するはたらしをするのが流通であり、流通は商流と物流と情報流に分かれることを理解する。 4. 流通経路は直接流通と間接流通に大別されること、また商品の種類によって流通経路が異なることを具体例を挙げて理解する。 5. 効率化や情報化する流通が主流になってきており、それによってオムニチャネル化する流通が進化してきていることを理解する。	6	ビジネスの種類② ○サービス業の役割 ○サービス業の特徴 ○サービス業の新たな展開		
7	第2回 7月10日	第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類	⑦「ビジネスの種類」 1. ものサービスの意味と違いを理解し、その取り扱い業種によって、第1次産業から第3次産業へ分類がされることを理解する。 2. 製造業の役割・新たな展開について理解する。 3. サービス業の役割・新たな展開について理解する。 4. サービタイゼーションの意味と、具体例を挙げながら身の回りのサービタイゼーションについて理解する。	7	小売業 ○小売業のビジネス ○小売業の種類 ○小売業の新たな展開		
		2. 小売業	⑧「小売業」 1. 小売業の役割について理解する。 2. 小売業のチェーン化の種類を知り、具体例を挙げながら現状を知る。 3. 小売業の種類について、業態別にみた小売業について例を考えながら学習する。 4. 小売業の新たな展開として、さまざまな取り組みがあることを学習する。	8	卸売業 ○卸売業のビジネス ○卸売業の種類 ○卸売業の新たな展開		
8		3. 卸売業	⑨「卸売業」 1. 卸売業の基本的な役割のほかに、生産者や小売業への情報提供などの役割があることを理解する。 2. 商品流通における卸売業の収集機能を持つ産地卸・仲継機能を持つ仲継卸・分散機能を持つ消費地卸の3つの機能によって分類できることを理解する。 3. 卸売業の役割が低下していることを理解するとともに、卸売業がその地位の確保に努力している現状を学ぶ。			VOD 前半のまとめ	
		4. 物流業	⑩「物流業」 1. 物流を構成する活動を理解する。 2. 物流業の役割と課題を確認し、運輸業と倉庫業について学習する。 3. 物流業の新たな展開について学習する。	9	物流業 ○物流業のビジネス ○物流業の種類 ○物流業の新たな展開		

9	5. 金融業 6. 情報通信業	①「金融業1」	10		
		1. 金融業のビジネス・役割・種類について理解し、そのビジネスの特徴を学習する。 2. 銀行の業務について理解する。 3. 証券会社の業務について理解する。 4. 保険会社の業務について理解する。また、保険の種類と保険の仕組みについて理解する。	金融業 ○金融業のビジネス ○金融業の種類 ○金融業の新たな展開		
10	第3回 9月20日	②「金融業2、情報通信業」	11		中間到達度チェック (レポート第1回・第2回) 教科書p.8~p.84 学習書p.6~p.44
		5. 金融業の新たな展開について学習する。 6. 金融に関する規制緩和、自由化の概略を理解する。 7. 情報、通信業の働き・役割・種類について理解する。 8. 情報通信の新たな展開について学習する。	情報通信業 ○情報通信業のビジネス ○情報通信業の種類 ○情報通信業の新たな展開		
10	第5章 企業活動の基礎 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性	③「ビジネスと企業1」	12		
		1. 企業の役割や種類などについて理解する。特に株式会社のしくみや機関については、しっかりと理解する。 2. 企業倫理と社会的責任という抽象的な概念を具体的に調べ、理解する。 3. コンプライアンスやコーポレートガバナンスなどの意味を学習する。	ビジネスと企業 ○企業の役割と株式会社の仕組み ○経営組織の種類と運営 ○経営戦略		
11	第4回 10月20日	④「ビジネスと企業2、マーケティングの重要性」	13		
		4. 経営組織の種類と運営について学習し、組織を運営していくには、リーダーの適切な意思決定と部下のやる気を引き出すことが重要であることを理解する。 5. 経営戦略は個々の事業の目標を達成するための戦略であることを理解する。 6. 仕事をより適切に進めるためにPDCAサイクルがあることを理解する。 7. マーケティングの役割と手順、企業はどのようなマーケティングを行っているのかを、具体例を取り上げながら理解する。	マーケティングの重要性 ○マーケティングとは ○市場の分析 ○マーケティング・ミックス		
11	3. 資金調達 4. 財務諸表の役割	⑤「資金調達、財務諸表の役割」	14		
		1. ビジネスに必要な資金には、運転資金と設備資金があることを説明し、それぞれの資金の意味を理解する。 2. 各種の資金調達の方法があることを説明し、とくに社債の発行と株式の発行による資金調達を理解する。 3. 財務諸表の種類と役割を理解する。また、財務諸表を用いることで利害調整や、企業にとって有用な投資意思決定情報を提供することができることを理解する。	資金調達 ○資金と資金調達 ○資金調達の方法 ○資金調達に伴う責任		
11	5. 企業活動と税 6. 雇用	⑥「企業活動と税、雇用」	15		
		1. 税の意味と法人税・住民税・事業税・固定資産税・消費税の概略を理解する。 2. 税の申告と納付方式について学習する。 3. わが国における雇用の特徴について、終身雇用・年功序列などのキーワードを用いて学習する。 4. 雇用に伴う企業の責任について、制度や法規の順守により従業員とその家族を支えていることを理解する。	財務諸表の役割／企業活動と税 ○財務諸表の役割 ○税の役割と種類 ○税の申告と納付		
	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順	⑦「売買取引の手順」	16		
		1. 現場渡し価格と持ち込み渡し価格の内容と違いを理解する。 2. 売買取引における契約の重要性を理解させる。 売買取引の締結と履行の手順については、実習を通して理解させる。	雇用 ○さまざまな雇用形態 ○日本における雇用の特徴 ○雇用に伴う企業の責任		

12		2. 代金決済①	<p>⑮「代金決済1」</p> <p>1. 通貨の種類と、種類別の発行主体、金種、強制通用力を理解する。</p> <p>2. 小切手の概略、長所・短所、振り出し、受け取り方法、不渡小切手について理解する。</p> <p>3. 約束手形の振り出し、受け取り、不渡り、遡求などについて理解する。</p> <p>4. 為替手形については、約束手形との違いを理解する。</p>	17	<p>売買取引の手順</p> <p>○売買契約とは</p> <p>○売買契約条件の取り決め</p> <p>○売買契約の締結と履行</p>	VOD 後半のまとめ	
1		2. 代金決済②	<p>⑯「代金決済2」</p> <p>1 5. 銀行振込と口座振替による決済には、どのような方法があるか学習する。</p> <p>2 6. キャッシュレス決済の種類、仕組みを学習する。また、これらは便利であるがデメリットもあることを理解する。</p>	18	<p>代金決済</p> <p>○さまざまな代金決済の方法</p> <p>○小切手(約束手形)による決済</p> <p>○キャッシュレス決済</p>		
	第6回 1月30日	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎①	<p>⑰「ビジネス計算の基礎1」</p> <p>1. 割合に関する様々な計算を理解する。</p>	19	<p>ビジネス計算</p> <p>○仕入原価と売価</p> <p>○外国貨幣の換算</p> <p>○利息の計算</p>		<p>年度末試験 (レポート第3回～第5回) 教科書p.85～p.129 学習書p.45～p.82</p>
2		1. ビジネス計算の基礎②	<p>⑱「ビジネス計算の基礎2」</p> <p>2. 商品代価の計算方法を理解する。</p> <p>3. 仕入原価と売価に関するいろいろな計算を練習する。</p>	20	<p>身近な地域のビジネス</p> <p>○さまざまな地域の魅力と課題</p> <p>○地域ビジネスの動向</p> <p>○身近な地域の見どころ再発見</p>		
		2. ビジネス計算の応用	<p>⑲「ビジネス計算の応用」</p> <p>1. 度量衡及び外国貨幣の換算を練習する。</p> <p>2. 単利と複利について理解する。また、計算方法を習得する。</p>				
3		第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題	<p>⑳「さまざまな地域の魅力と課題」</p> <p>1. 地域にはどのような魅力があるかを調べる。</p> <p>2. 都市部以外の地域では人口減少と少子高齢化が深刻なところが多くあることを学習し、それが及ぼす影響を理解する。</p> <p>3. 地域を活性化させるために、さまざまな取り組みをしている。自分たちの住んでいる街ではどんな地域ブランディングが有効かを考える。</p>				
		2. 地域ビジネスの動向	<p>㉑「地域ビジネスの動向」</p> <p>1. 地域にビジネスが必要なのはなぜか、考える。</p> <p>2. 地域密着型ビジネスの種類と内容を学習する。</p> <p>3. 地域の伝統産業にはどんなものがあるか、またそれを活かした伝統産業の新たな価値を生み出す方法を調べる。</p> <p>4. 地域ビジネスが抱える課題は何か、調べる。</p>				